



都市整備

市営住宅に民間保証会社の導入検討を求む

Q

市営住宅の家賃滞納は水際で防ぐ必要がある。民間保証会社による保証制度を導入することによって家賃滞納を防ぎ、また、保証人がいなくても保証会社が認めれば入居申し込みもできる。導入を検討してみてもどうか。

A

入居者が保険料を払わなくなったときに、会社が連帯保証人の役割をできないと思っていたが、一回支払いをすればずっと継続してできるということであれば、検討の余地があると思うので今から研究したい。



市内の中小零細建設業界の不況対策を

Q

市内の建設業関係の方々は県下13市のうち7市が実施している「一般家庭のリフォーム助成制度」を希望している。特に佐世保市では大きな成果があげているとのことである。大村市でも実施できないか。

A

中小零細建設業等の経営安定、地域経済の活性化を図るため、住宅改修費用の一部を助成する住宅リフォーム支援事業を平成24年度から実施する方向で検討を進めている。



行財政・一般

市民交流プラザの方向性

Q

市民交流プラザの内容はどうなり、最終決定はいつ行うのか。1階に予定しているキッチンスタジオだが、既存の調理施設の利用状況を検証した上で計画を行ったのか。

A

平成24年の1月中には内容を固めたいと準備を進めている。1階部分のキッチンスタジオについては、女性に人気があることや、上階の市営住宅に居住する高齢者への食事の指導、食生活改善推進協議会の活動拠点としても活用できることから計画した。既存施設の調理場の分析等としてはしていない。

Q

親和銀行跡地に1〜4階が市民交流プラザ、5〜12階が市営住宅という複合ビルが計画されている。ホールや子ども未来館からなる市民交流プラザに駐車場が全くないのは大きな問題である。このままでは見切り発車になるのではないか。

A

最初に駐車場を設けて、それから建てようとしても無理な話である。まず立派なものを建てて、周辺の駐車場を活用する方法でやらざるを得ない。駐車場の問題には懸命に取り組み、最大の努力をする。決して見切り発車ではない。

市制施行70周年記念事業について

Q

大村の歌「光る海」の活用を考えるべきではないか。大村市歌についても市民にもっと理解してもらいたい歌ってもらうべきだと思う。また、海上自衛隊の協力を仰いで海軍カレーなどを創作し、市外にアピールできないか。

A

「大村市歌」はある程度浸透していると思うが「光る海」はあまり知られていないと思う。70周年の際に市民に広げたい。カレーについては良い視点である。食の祭典の企画において検討するよう提案したい。